

27. 熊本大学総合情報基盤(統括)センター改善計画書

領域	改善計画 (H27.3.31現在)	改善状況① (H27.12.1現在)	改善状況② (H28.12.1現在)
研究	<p>(次の組織評価までに改善する計画)</p> <p>当センターの教員は、当センターの役割である、本学における情報基盤、情報サービス、IRデータベース、情報セキュリティの企画・運用・管理を実施している。更に、これらの業務を行いながら、全学部の1年次生の必修科目である通年の情報基礎AおよびBを実施すると同時に、自然科学研究科ならびに社会文化科学研究科の複数の科目を担当している。</p> <p>これらの業務と教育で得た知見やノウハウを汎用化し、学術的意義の高い論文として出力できるようにするため、一丸となって他では得ることの難しい情報セキュリティ分野、情報リテラシー分野等の情報の集約を進める。また、毎年研究の内容・進捗状況を教員相互でチェックすると同時に教員同士の共同研究を進める。</p>	<p>教員相互で研究内容の吟味・進捗の確認等を行う場として、当センターの教員が担当するすべての学生も含め、当センターで持っているすべての研究テーマに関するディスカッションをH27年6月より毎週金曜日の午後に行っている。</p>	<p>教員相互で研究内容の吟味・進捗の確認等を行う場として、当センターの教員が担当するすべての学生も含め、当センターで持っているすべての研究テーマに関するディスカッションを昨年度に引き続き行っており、平成28年度は毎週火曜日の午前に行っている。</p>
社会貢献	<p>(次の組織評価までに改善する計画)</p> <p>組織として社会貢献活動の範囲を広げるため、平成28年度までに具体的な活動内容を検討し、社会貢献活動への取り組みを推進する。</p>	<p>各構成員は、それぞれの専門性を活かして、地方自治体や公共団体からの協力要請に対応することで社会貢献を実施した。具体的には、これまで、県等の依頼によるシステム改修やセキュリティ対策強化のための助言等を行った。更に、今後の社会貢献活動の範囲拡大のための具体策を検討した結果、当センターで既に構築した先進的な情報システムの構成方法や運用実績等を公開し、同様のシステムの導入を計画している他の大学や組織等に貢献していくことにした。</p>	<p>各構成員は、それぞれの専門性を活かして、地方自治体や公共団体からの協力要請に対応することで社会貢献を実施した。具体的には、熊本県からシステム改修に関する業者からの提案書の評価方法等に対して意見を求められたので助言を行った。また、熊本地震の際に急遽当センターの教員が作成した安否確認システムについて、その機能並びに実際に登録された安否情報に関して、AXIES等で発表し、他大学へ情報提供を行った。さらに、同じく熊本地震の際に、熊本市からの協力要請に対応して、避難所間情報共有ネットワーク(Rネット)の構築・整備に協力した。</p>
国際化	<p>(次の組織評価までに改善する計画)</p> <p>ポータルや学務情報システムの多言語化は早急に対応すべき事項である。ただ、既存システムの多言語化対応には、十分な予算と多言語化を設計・構築する人的資源が必要となる。これらの予算と人的資源を確保するために今後関係部署への働きかけを行うが、確保できた予算・人的資源を緊急度・重要度の高い順に効率的・効果的に配分してシステムの多言語化を実施する。</p>	<p>今年度から運用を開始した新シラバスシステムは、英語への対応を実現した。また、9月末から運用を開始した新学務情報システムにおいても、英語への対応を実現した。</p>	<p>当センターが提供している統合認証システムのログインIDである熊本大学IDの確認方法を始めとする各種システムのマニュアルページや学生用メールに関する通知文章等の英語翻訳を翻訳業者に依頼する準備を行なっている。今年度中には、当該Webページ等で英文の併記を行う予定である。</p> <p>また、新たに作成した情報セキュリティの学生向けポケットマニュアルは外国人留学生向けに英語化しており、学務情報システム(SOSEKI)について、操作マニュアルの英語化を準備中である。</p>
その他(男女共同参画)	<p>(次の組織評価までに改善する計画)</p> <p>本学の育児・介護支援制度に関する情報を、当センター教職員に会議等できちんと伝達するとともに、制度を利用したいと考えている教職員がためらうことなく制度を利用するような、雰囲気作りを行う。</p> <p>また、全学の男女共同参画講演会などには、毎回当センターの構成員の20%以上の参加することを目標とし、組織全体の意識の向上を図るとともに、そこで提案されたもののうち、当センターで実施できる取り組みについては早急に行うようにする。</p>	<p>育児や介護に関して利用したい制度があれば、気軽に相談して欲しい旨を構成員に周知している。</p> <p>また、男女共同参画講演会には、毎回当センターの構成員の20%以上の参加を実現することができた。</p>	<p>育児や介護に関して利用したい制度があれば気軽に相談して欲しい旨を、機会がある毎に構成員に周知している。</p> <p>また、男女共同参画講演会には、毎回当センターの構成員の20%以上の参加を実現することができた。</p> <p>更に、今年度、准教授の公募を行った際には、公募資料に男女共同参画を推進している旨を明示した。</p>